

番号	氏名	抱負
251	柳田 智	これまで、関東部会学術・表彰担当役員、大会開催委員として会務に協力させていただいてきました。役員を務めさせていただき、学会本部、分科会、部会の結びつきの重要性を常に意識しております。今後も学会本部、分科会と協力し、更に地方での多くの事業を行っていかなくてはならないと考えています。経験を生かして代議員として、技術学会の発展、部会の活性化、会員の放射線技術の向上のために寄与してゆきたい所存でおります。
252	藪田 和利	放射線治療の情報が行き渡るようにしたい
253	山口 和也	
254	山口 隆義	本学会は、放射線技術を通じた社会貢献を目指すと共に、近年では、国際化を1つの大きな目標とし、様々な取り組みを行っております。私は、自身の様々な国際学会等への参加経験を活かし、学会の未来を見据えながら、会員の現状に則した国際化のあり方について考え、更なる飛躍と発展に向けて努力して参りたいと考えております。
255	山下 栄二郎	私は現在40歳で、長年特にMRIの研究を行い、学位も取得してきました。国内外で研究発表をする中で、研究の成果は世界に向けて発信することが重要であることを知りました。私は日本放射線技術学会がもっと世界に目を向けた学会になるように努めたい、また、技研究レベルが少しでも向上するように、支援ができたらと思っています。代議員になれば前記の事を念頭に、学会事業に意見を述べ討議や議決に参加したいと考えています。
256	山田 篤人	私は32年前より本学会に所属し、画像分野から医療情報分野まで4半世紀以上の活動経験がございます。現場では病院統合による施設引越しや新病院の情報システム設計に携わりながら、移動したままの医療情報システムを安全に移行させるためのノウハウや実務経験がございます。今般、この経験を生かし代議員に立候補させていただき、臨床と研究分野の橋渡しを行なうために努力したいと思っていますのでよろしくお願い申し上げます。
257	山田 健二	公益社団法人日本放射線技術学会(以下、技術学会という)において四国地方の代議員数が少ない。これでは本部の意向を広く地方へ浸透させるという点で困難が生じる。これは問題である。そこで私が代議員として当選した際には、四国地方の会員に技術学会の意向をお伝えすることに力を入れていきたい。また地方の意見を本部へ反映して頂く為にも努力したいと考えている。
258	山田 泰司	放射線技術のさらなる追究のために、貴会が果たしてきた役割は大きく、今後もさらに重要であることは事実です。微力ながら、そのお手伝いを北海道の一役員として果たすために代議員の立候補させていただきます。私は現在、北海道部会で消化管&超音波専門委員会の委員長を務めております。消化管や超音波の領域においても論文投稿や研究発表が盛んにおこなわれるような環境を整備できればと考えております。よろしく申し上げます。
259	山根 武史	現在、代議員を務め中国・四国部会の理事も拝命しています。これからも本会がより発展するよう協力したいと考えます。
260	山本 剛	私の専門とする分野は、医療情報学です。放射線技術学の中で医療情報分野は様々なモダリティを横断的に活用出来る技術を研究出来る大切な領域だと考えます。放射線技術学会での医療情報分野の発展を願い、また未来に向けて今以上に研究を重ね人材育成にも力を入れる必要があるため代議員としてその重要な意見を学会へ届ける為に立候補いたします。